

九州初の“おもてなし”の形 11/20～23 ～「これから…」「来年は…」の願いを込めて～

モバイル型ロボット RoBoHoN（ロボホン）が「おもてなし総踊り」と施設案内を実演

熊本市内の商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto（運営：九州産交ランドマーク株式会社、以下：サクラマチクマモト）」では、2021年11月20（土）～23日（火・祝）の4日間、施設内にてモバイル型ロボット「RoBoHoN（ロボホン）」による“おもてなし”を実演。期間中に来館されるお客様をはじめ、熊本の皆様に、ロボホンを通してメッセージを発信します。

今回の試みはコロナ終息の兆しも見え始め、さらに当施設前の花畑広場も完成を迎えた今、サクラマチクマモトから来館される皆様、及び熊本の皆様に、「これから（もっと“まちなか”を楽しみましょう）」、「来年は（「火の国まつり」で一緒に踊りましょう）」のメッセージを感じていただき、その拡散・浸透を目的としています。期間中は施設2カ所に置かれるロボホンが、お客様のタップするタブレット表示に従い施設レストランや各種設備、周辺情報について音声案内をします。また、施設1Fのエントランスロビーでは1日8回、熊本の夏の風物詩「火の国まつり」の象徴である「おもてなし総踊り」に合わせて計10体のロボホンがパフォーマンスをします。

サクラマチクマモトでは、熊本に馴染みの深い伝統文化の披露としてロボホンを活用し、発信することにより先進技術への興味・関心も高めながら、コロナ禍で浮き彫りになった社会課題解決の一助を提案したいと考えています。さらに、将来はロボットの社会実装を通じた従業員の業務効率化、お客様サービスの均質化などの可能性を探ってまいります。

■ ロボホン稼働スケジュール ■

① 計10体による「おもてなし総踊り」の披露 = エンターテインメントとしての“おもてなし”

…各日 11:00～18:00（毎時00分に5～10分間） / 1F エントランスロビー

② タブレットと連携した施設案内 = ホスピタリティとしての“おもてなし”

…各日 11:00～20:00（常設） / 1F エントランスロビー・2F コンコース

ロボホンによるお客様への“おもてなし”は、首都圏では実績があるものの、九州の商業施設では初めての試みとなります。

RoBoHoN（ロボホン） / 2016年に発売。

シャープ株式会社が開発したモバイル型コミュニケーションロボット。

身長約19cm、体重約396g。カメラ、メール、スケジュール、アラームなど多様なアプリケーションの使用だけでなく、身振り手振りを交えた会話や歌、踊りなどのパフォーマンスも可能。



サクラマチクマモトが開業当時の想いである、施設を拠点とした熊本県内・市内の賑わい創出と回遊性向上を果たすうえで、1F エントランス前の花畑広場の完成（11/13）は、当施設が理想とする姿、“熊本城と庭続き、まちの大広間”の完成に一步近付いたものと考えています。今後もサクラマチクマモトは花畑広場とともに、熊本の「これから…」「来年は…」をサポートする施設であり続けられるよう、尽力してまいります。

<当件に関するお問い合わせ先>

九州産交ランドマーク株式会社 / SAKURA MACHI Kumamoto オペレーションセンター 担当：和田

TEL 096-325-1219（代表） FAX 096-355-5541